

国際協力



2015 秋号

No.45 2015.10.1

JICA駒ヶ根



特集・青年海外協力隊事業50周年記念 1~2	エッセイコンテスト副賞研修旅行レポート…… 4
JICAボランティア秋募集 …………… 3	協力隊員現地レポート …………… 5
イベントレポート …………… 3	長野県出身新ボランティア …………… 5
中小企業海外展開支援 …………… 4	平成27年度教師海外研修報告 …………… 5
草の根技術協力事業 …………… 4	国際理解教育指導者セミナー・PCMセミナー …… 6
JICA長野 デスクの窓から…………… 4	インフォメーション、新スタッフ紹介 …… 6

特集 青年海外協力隊事業50周年記念

ありがとう 50周年!

県内各地で青年海外協力隊
50周年記念イベントを行いました。

7/11 幸せの国・ブータンとあわせ信州 土 ～押切もえと語る青年海外協力隊～

3年前にJICAの「なんとかしなきゃ!プロジェクト」のメンバーとしてブータンを訪れた押切もえさんをお迎えし、国民総幸福の国ブータンとあわせ信州について、当時JICAブータン事務所長であった仁田所長との再会対談や、ブータンの元協力隊員らとのパネルディスカッションを行いました。200名を超える参加者の方々が、「幸せを分かち合う」国際協力について、そして自らの本当の幸せについて、改めて考える機会となりました。



9/6 民族音楽トークイベント 日 @JR長野駅「りんごのひろば」

青年海外協力隊発足50周年記念パネル展開催中の日曜日に民族音楽トークイベントを行いました。ゲストには佐久総合病院音楽部の民族音楽バンド“ミルク&カウボーイズ”の皆さんを迎え、中南米の音楽を中心に演奏をしていただきました。多くの方々に集まっていたいただき、協力隊50年の歩みの説明を熱心に聞いていただきました。演奏中は全員が手でリズムをとるなど、ご家族で楽しめる参加型イベントとなりました!



9/13 世界と信州をつなぐ 日 『国際×若者×青年海外協力隊』 ～青年海外協力隊から信州の地域づくり～

第一部は「なんとかしなきゃ!プロジェクト」メンバーで、松本市が舞台のTVドラマ「白線流し」に出演した酒井美紀さんをお招きし、SBCラジオのパーソナリティー武田徹さんによる進行のもと、酒井さんが途上国で見てきた現実、国際協力の必要性を広く伝えていきたい、という熱い思いを語っていただきました。

第二部は、元協力隊員で木祖村地域おこし協力隊の床次あかねさんと阿南町地域おこし協力隊の尾崎真理子さん、そして信州大学地域戦略センター准教授の林靖人さんに、元協力隊員としての経験が地域おこしの活動にどのように役立っているのか、また、信州における地域づくりの課題についてお話していただきました。



第一部出演者: 左からJICA柳沢理事、酒井美紀さん、武田徹さん

9/27 第3回信州駒ヶ根ハーフマラソンにて、 日 元協力隊のランナー50名が疾走!

今年の信州駒ヶ根ハーフマラソン大会で、全国各地から50名の元協力隊ランナーが集まり、自身の派遣国の国旗を背につけて秋の駒ヶ根を疾走しました。また、ザンビアで陸上を教えた松本市出身の元隊員、中川敬介さんの教え子であるジャクソン・ヌグルベ選手が、特別ゲストとしてザンビアから招へいされ、2,300人の一般ランナーと駒ヶ根での走りを楽しみました。



元隊員の選手が大集合!



元隊員の中川さんとジャクソン選手



第22回みなこいワールドフェスタ

『国際×地域×若者』

～世界で、日本の地域で、活躍する人～

青年海外協力隊員として活動し、現在、日本の各地域で防災・復興・まちづくり・地域おこし等の分野で活動している5名のパネリストがこれまでの経験と現在の活動を紹介します。(当セミナーは、第21回みなこいワールドフェスタの週間イベントとなります。)

■日 時: 2015年10月24日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

■会 場: 駒ヶ根高原美術館 ホール
 ■定 員: 150名(先着順、中学生以上)
 ■共 催: 駒ヶ根協力隊を育てる会
 ■参加費: 無料(要事前申し込み)

- パネリスト
- ◆河内 毅 氏 公益社団法人中越防災安全推進機構地域防災力センター センター長 (平成14年度1次隊/グアテマラ/森林経営)
 - ◆元持 幸子 氏 特定非営利活動法人つどい(岩手県大槌町)事務局長 (平成18年度3次隊/コスタリカ/理学療法士)
 - ◆村田 浩子 氏 三重県尾鷲商工会議所 専務理事 (平成18年度3次隊/ペリズ/青少年活動)
 - ◆滝下 智佳 氏 徳島県神山町地域おこし協力隊 (平成18年度2次隊/ボリビア/青少年活動)
 - ◆橋澤 幸治 氏 モアーク農産株式会社 たてしな農場 生産担当 (平成19年度1次隊/ボリビア/野菜栽培)



【お問い合わせ・お申込み】
 JICA駒ヶ根
 担当/小嶋(おじま)まで

青年海外協力隊50周年記念

信州グローバルセミナー2015

■日 時: 2015年12月20日(日) 10:00~15:40 ■会 場: JICA駒ヶ根

■対象者: 高校生以上150名(要事前申込10月より受付開始) ■参加費: 700円(昼食代)

基調講演:星野昌子さん「青年海外協力隊～半世紀を振り返って」

- セッション1 【午前】
 テーマ1「青年海外協力隊発足50周年 イマ、活動している元協力隊員」
 テーマ2「ネパール大地震その後～復興支援について学ぼう」とし、6つの講座を予定。
- 昼食&懇親会
 元JICAボランティアや国際協力経験者との昼食懇親会 (エスニック弁当で世界の味覚体験)
- セッション2 【午後】
 「長野県の力を途上国に活かそう」をテーマに、県内で活躍している国際協力の推進者による7つの講座を予定。

長野駅前、上田駅前、
 松本駅前からそれぞれ
 無料送迎バス有。

50周年特別企画として
 初代青年海外協力隊
 星野昌子さん(ラオス)
 による基調講演を
 行います!



プロフィール

ほしの まさこ

星野昌子さん

東京都生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。
 1965年、青年海外協力隊の初代隊員として
 ラオスで日本語教育に従事。
 1980年、日本国際ボランティアセンター
 (JVC)をバンコクに設立。
 神奈川県立かながわ女性センター館長。その
 後、日本NPOセンター代表理事、敬愛大学国際
 学部教授、2008年G8サミット・NGOフォーラム
 代表などを歴任。2012年旭日小綬章授章。

【お問い合わせ・お申込み】 JICA駒ヶ根 担当/佐藤(さとう)まで

シリーズ

世界から、地域で活躍!信州で活躍する元協力隊員に聞きました。



松本市
 なかじま いわお
中島 巖さん

長野県の誇れる
 初期の隊員!



現在の中島さん。
 ご自身の会社で。

1969年度(昭和44年度)3次隊
 派遣国:マレーシア 職種:工作機械

Q1:隊員を目指したきっかけは?

松本で隊員の留守家族会があることを新聞で知り、米国平和部隊との違いに興味を持っていたので行ってみたいのがきっかけでした。当時働いていた会社がドイツへ社員を研修生として送っていて、その応募も考えたのですが、より自由に活動できる協力隊を選びました。



前列左から2番目が当時の中島さん。金属加工クラブでアドバイザーをされていました。

Q2:当時の活動の状況を教えてください。

当時、派遣地は現地政府によって割り振られていて、出国時はマレーシアのどこに派遣されるのかは未定でした。家族との連絡は船便による手紙。活動は半年ほど様子見て、現地の英語に慣れるのに時間もかかりました。中国系の生徒には漢字でコミュニケーションしました。

Q3:帰国後、協力隊の経験はどう生かされましたか?

当時、帰国後就職先を探すのは一苦労でしたが、隊員経験が活き、機械関係の会社に就職できました。マレーシア研修生の受け入れを担当、社員寮に泊まり込みで24時間彼らの世話を。イスラム教徒が多く食事の件で食堂とかがあったり、休日は東京見物へ連れて行ったり。マレーシア隊員だったことで会社に貢献することができました。

青年海外協力隊長野県OB会の初代会長もやりました。帰国1年後、各県でOB会結成の動きが始まり、松本市近辺の元隊員3人と発足をしました。駒ヶ根訓練所はまだなく、協力隊はあまり知られていない時代。県内にいる隊員の情報もほとんどありませんでした。

その後、長野県青年海外協力隊を育てる会が1986年(昭和61年)に発足し、会報紙「南十字星」を創刊(1996年に19号で終刊)。県内各地から私の家にOBが泊まり込んでわいわい編集会議をやっていましたね。

Q4:現在の活動について

一昨年から日本国連協会松本支部より、声がかかり、総務部長に任命され、会の名前にふさわしい活動をしようと模索しています。将来的には元協力隊員にもメンバーになってもらいたいですね。



上田市
 おかみやま みき
岡宮 美樹さん(旧姓:成澤)



平成16年度0次隊日系社会青年ボランティア
 派遣国:ブラジル 職種:日本語教師

Q1:現在の活動について教えてください。

現在、国立長野高専で留学生の「日本語」の授業を担当しています。留学生とともに、「今」の日本を感じ、日本の高い技術力を世界に広める一助を担っています。また、厚生労働省が創設した地域に住む外国籍住民のために日本語研修事業の、講師として、生活のための日本語はもちろん、日本で働くための日本語を教えています。

Q2:協力隊の経験で一番印象に残っていることについて教えてください。

私たち日系社会青年ボランティアは各国の日系社会へと派遣されます。そこで見た日系社会に生きる人々は、実に日本を愛し、日本人として誇りを持って異国の地で活躍しています。現代の日本人が忘れてきている「誇り」や「愛国心」、そして「つながり」を思い出させてくれました。

Q3:今の活動に、協力隊の経験はどう生かされていますか?

来日間もない留学生の寂しさや不安は、手に取るように分かります。慣れ親しんだ地域、そして家族と離れて生活することは想像以上に心に負担がかかります。そんな心に寄り添いたいという気持ちは、私自身の協力隊の経験からのものです。

Q4:これからの夢、チャレンジしたいことを教えてください。

夢はたくさんありますが、日本に住む外国籍住民の方々安心して暮らしていくために、「日本語」を通してお手伝いしていきたいと思っています。

そしていつか、再びブラジルの豊かな大自然を味わいに行きたいと思っています。また、ブラジルをはじめとする海外の日系社会についてもご紹介できたらと思います。

帰国したJICAボランティアの方

2年間の活動
お疲れ様でした!!



平成25年度1次隊

安西るり子 さん (立科町出身) ●派遣国: モロッコ ●職種: 看護



「サハラ砂漠」…学生時代に勉強したような、そこから車で2時間の場所に2年間住んでいたなんていうと、なんだか夢の中のことだったような気がしてきます。

そこで出逢った障がいを持つ子どもたち。歩けなくても、耳が聞こえなくても、私がモロッコ方言のアラビア語を話せなくても、彼らとは通じることが出来まし

た。言葉という手段は確かに必要です。でも、一番大切なのは相手のことを知りたい、わかりたいと「想う」こと。モノがないことや、出来ないことがあることは決して不幸でも不便でもないのです。それよりも自分のいる場所、自分のおかれている環境に満足できず、幸せだということに気づけないことの方が不幸かもしれません。モノがないから出来ないという訳をするのは簡単です。でも、そこで諦めたら一歩も進めない。じゃあどうするか、何が出来るかを考えたらいしいんです。彼らと体育や園工をしながら大切なことをたくさん教えてもらった2年間でした。



始まりました、JICAボランティア秋募集!

映画「世界の果ての通学路」の上映、ボランティアの帰国後の進路に関する特別講演など、さらに内容が充実! 10/18の「一日体験入隊」以外は入退自由です。どなたでもお気軽にお越しください!

10/1~11/2

2015年度JICAボランティア秋募集 説明会日程 (青年海外協力隊・シニア海外ボランティア合同開催)



- 9月26日(土) 【13:00-16:00】 長野市生涯学習センター(TOiGO) 3階 第3学習室 (特別講演あり) **終了しました**
- 10月 3日(土) 【13:00-16:00】 飯田市鼎公民館 3階 講義室 (映画上映あり)
- 10月10日(土) 【13:00-16:00】 上田市交流文化芸術センター サントミュージゼ 多目的ルーム (映画上映あり)
- 10月11日(日) 【13:00-16:00】 飯山市公民館 2階 講堂 (映画上映あり)
- 10月17日(土) 【13:00-16:00】 松本市中央公民館(Mウイング)3-2 会議室 (特別講演あり)
- 10月18日(日) 【10:00-16:45】 「一日体験入隊」 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

※「一日体験入隊」のみ、先着順・要事前申込・参加費500円(昼食代)。詳細はJICA駒ヶ根ウェブサイトにて。

イベント・レポート Event Report



8/9

JICAボランティア 帰国報告会を行いました!

JICAボランティアをもっと一般に広く知ってもらいたい、帰国隊員のみなさんとよりつながりたい、という思いで、本年度は長野県出身のJICAボランティア帰国報告会を年4回行う予定です。その第一回が8月に行われ、一般参加者や訓練生も含む40名を超える聴講者がありました。発表者6名の皆さんは(下記)、なぜJICAボランティアを志したのか、各国での生活や、活動における困難、また、それをどう乗り越えてどう自分が変わったか等、1人1人のストーリーを生き生きと語ってくれました。次回は11/1(日)にJICA駒ヶ根で実施予定です。皆様のご参加をお待ちしています!

<p>青年海外協力隊</p> <p>宮崎 大輔さん (飯田市出身) 平成25年度1次隊 職種:野菜栽培 派遣国:パナマ</p>	<p>川上 桂奈さん (安曇野市出身) 平成25年度1次隊 職種:小学校教諭 派遣国:ブルキナファソ</p>	<p>日系社会シニア・ボランティア</p>
<p>安西るり子さん (小諸市在住) 平成25年度1次隊 職種:看護 派遣国:モロッコ</p>	<p>西脇 英樹さん (飯田市出身) 平成25年度1次隊 職種:小学校教諭 派遣国:エクアドル</p>	<p>坂田 真吾さん (長野市出身) 平成24年度4次隊 職種:青少年活動 派遣国:マラウイ</p>
		<p>志摩 浩一さん (上田市在住) 平成25年度0次隊 職種:日系日本語学校教師 派遣国:パラグアイ</p>

8/30 第8回 クロスカルチャーデー in Komagane

駒ヶ根の良さを世界に発信する「クロスカルチャーデー in Komagane」。今回はメキシコとラオスの研修員計20名を市内中沢地区にお迎えし、市民の皆さんと交流しました。初めは野菜収穫を体験。無農薬の甘いトウモロコシやみずみずしいトマトをその場でいただき、チーム対抗戦でスイカ割りを楽しみました。そして、中沢公民館にて流しそうめんを体験。竹の上を麺が流れる光景に興奮しながらも、上手にすくって食べていました。その後は蔵澤寺を見学。お互い言葉がうまく通じなくても、一緒にダンスをしたり、おいしさを笑顔で共有したりと、言葉の壁を越えた交流をしていました。恒例の研修員の名前を漢字で書いた習字作品のプレゼントにも大喜び。駒ヶ根のおもてなしに触れ、そして駒ヶ根の良さを体験した一日でした。次回は11月に開催予定です。



JICA駒ヶ根 中小企業海外展開支援

『中小企業海外展開支援事業』長野県内“第1号”案件の調査事業が開始されました!

2014年度第2回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～に採択された長野県木曾郡大桑村に本社がある株式会社信州セラミックス(代表取締役社長 櫻田 理)が、JICAとの事業委託契約を結び、2015年7月より本事業を開始致しました。JICAの中小企業海外展開支援事業の長野県第1号となるこの事業は、ベトナムにおける病院内での院内感染のリスク軽減をはかるため、信州セラミックスが9ヵ月間、製造する環境衛生材料「earthplus™」による抗菌・抗ウィルスの効果やベトナムにおける製品加工の可能性を調査します。信州セラミックスでは、既に7月と8月の2回現地調査を実施しており、11月にも現地での調査を実施する予定です。

JICA駒ヶ根では、同社に続く多くの県内企業がJICAの中小企業海外展開支援事業を活用いただけることを期待しています。これからも県内各地でのセミナーや個別相談を実施して参りますので、お気軽にご相談ください。担当:小嶋(おじま)



(株)信州セラミックとベトナムの病院関係者との現地での打ち合わせ

— 草の根技術協力事業実施中! —

新たな事業が佐久市から始まります。(タイ高齢者ケア事業)



JICA駒ヶ根では長野県の知見を活かした4件の草の根技術協力事業が進行中ですが、新たに佐久市から提案され、佐久大学が事業実施団体となる草の根技術協力事業「タイ・チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト-サンスク町をパイロット地域として」が採択され、事業実施に向け準備中です。佐久地域は地域保健医療の先進地であり、世界のお手本となる素晴らしい経験がありますので、「地域に根ざした国際協力」として成果が期待されています。

7月28日に、佐久市柳田清二市長(右から3番目)と佐久大学竹尾恵子学長(左から3番目)が業務提携文書を取り交わしました。

JICA長野デスクの窓から♪

●7/5に第1回信州国際塾が上田高等学校にて行われました!
ネパール震災に端を発し、生徒有志の皆さんによる企画やワークショップ、フェアトレード商品販売などを行



ネパールの民族衣装や民芸品などを展示



沢山の皆様にご協力いただきました。感謝!

いました。上田市在住のネパール人留学生との出会いもあり、有意義な時間を過ごせました。集まった募金はJAITIを通し、ネパールへ送られました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました!

●第2回信州国際塾も間もなく開催!

長野高専の伝統ある文化祭「工嶺祭」にて、留学生の皆さんを中心に、国際交流同好会の皆さんが協力しながら、ランチョンセミナーとワークショップを行います。世界の民族衣装をまとい、楽しい時間を作ります!

日時:2015年10月18日(日)12:00~14:00
参加者募集中(中学生以上、参加費500円)です。
詳細は、JICA駒ヶ根ウェブサイトをご覧ください!

JICA長野デスク 榎本智恵子

JICA国際協力 中学生・高校生
エッセイコンテスト 2014
副賞研修旅行

「国際協力」のカタチ

昨年中学生の部 審査員特別賞 受賞者
伊那北高校一年 山本 一葉さん

私はこの夏、JICAのエッセイコンテスト研修旅行に参加し、フィリピンへ行きました。

どちらかといえば、私は日本の方が現地の人と直接関わって一緒に様々なことを改善・向上していく様子に憧れていたもので、国際協力という言葉は、私にとって何か大きいものでピンときていませんでした。

ですが、フィリピンで、日本のODAや日本の民間企業、協力隊・NGOの方達やJICA事務所の方、専門家の方など、とても多くの人たちが関わっている姿を実際に見ました。そして、いろいろな角度から、いろいろな温度で考えて、その国や国が抱える問題、人々を見つめて、

良い方向へ進んでいくことが「国際協力」なのだと初めてわかりました。

そうやって、沢山の面を持ち合わせて成り立つ「国際協力」を、研修を経た今私は素敵なものだと思います。私もいつか、その「国際協力」の輪に入りたいです。



(真ん中が山本一葉さん)

青年海外協力隊
現地レポート
from インドネシア
斉藤達也さん
平成26年度3次隊
職種:美容師
駒ヶ根市出身



女性自立支援の活動先での
カット講習の様子

2015年3月からインドネシアの南スラウェシ州にある特別支援学校でカットやメイクなどの美容技術指導を行っています。ここには耳が聞こえない子や知的障害の子が多く通っており、その子たちの社会参加を視野に入れた技術移転を活動目標としています。

赴任当初は授業体制が整ってなく設備環境も授業ができるような場所ではありませんでした。ハサミなどの道具類も日本のように一人ひと

とつ持てるわけではないため授業の仕方も工夫しないとうまく伝わらず飽きてしまうので日々試行錯誤しながら活動しています。

赴任してから半年が経ち、現場の教員のための指導や外部のコンテストなどに参加したりと授業以外の活動にも力を入れるようになりました。また最近は何校の学校を掛け持つようになり、さらに女性のための職業訓練施設で美容指導の講師として参加し女性の自立支援のお手伝いもしたりと活動先も増えました。最初は悩む事もありましたが今ではそれぞれが抱える問題を日本人の美容師として向き合い、美容技術を伝える事に喜びが生まれています。

近年インドネシアの美容業界は特に注目されています。美容を通じてこの国がさらに豊かになる事を願いながらこれからも活動していきます。



全国学生技術大会で教え子が州代表に選ばれさらに最終選考まで進んだ時の写真。(右が斉藤さん)

平成27年度第2次隊

長野県出身新ボランティア

行ってきます!!

シニア海外ボランティア



こやま ひでき
小山 秀樹 さん (阿智村)

派遣国:スリランカ
職種:野球



30年間勤めた教職を離れ、思い切って以前から興味があった国際貢献に行ってきます。スリランカのシンハラ語は大変ですが、ナショナルチームの監督として2020年東京オリンピックの出場を目指し、少しでもチームの手助けができれば幸いです。



きくち ゆき
菊池 郁希 さん (上田市)

派遣国:パラグアイ
職種:看護師



中学の講演会で見た開発途上国の子どもの写真をきっかけに国際協力に携わってみたいと考え看護師を目指しました。現地の方とたくさん話まじらず生活を教えていただくことから、そして何かお役に立てたらと思います。



さかくち しんたろう
坂口 慎太郎 さん (御代田町)

派遣国:ポリビア
職種:陸上競技



ポリビアの体育教員養成校に陸上競技の指導を行います。昨今のグローバル化に伴い、国内のみならず国外にも視野を広げ、自身の知識と経験を活かしていきたいと思っています。



おの ももえ
小野 百恵 さん (山形村)

派遣国:ガボン共和国
職種:野菜栽培



赤道直下の国で野菜栽培の普及をさせていただきます。自分たちの手で作った新鮮な野菜を食べることや、美味しい野菜ができた時の嬉しい気持ちを一緒に共有し、生活を良くするお手伝いができればと思います。



みやした ゆうじ
宮下 裕司 さん (駒ヶ根市)

派遣国:ガーナ
職種:PCインストラクター



職業訓練センターにてPCの使い方を教える予定です。2年間と言う短い期間の活動になりますが、今までの職歴を生かし現地の方と友に学び、相互理解を深め、お互いに成長していきたいと考えております。



あべ ゆず
阿部 結珠 さん (飯田市)

派遣国:ラオス
職種:青少年活動



派遣先の子供文化センターに所属し、子どもたちにサッカーや絵画などの情操教育を行います。帰国後にラオスの魅力を日本に伝え、人脈や経験を活かせるように幅広い活動を行い、自身の成長につなげたいです。



たにかわ むねのぶ
谷川 宗信 さん (飯田市)

派遣国:タイ
職種:理学療法士



日本でも政府の政策が大きな転換期にあります。そんな中、日本人として任地へ赴く事に大きな責任を感じています。たとえ小事でも任地の課題改善を目指し、その国際協力こそが平和につながるかと信じて活動していきます。



なかの じゅんぺい
中野 純平 さん (松本市)

派遣国:パラグアイ
職種:エアリアルテイク



高校から重量挙げを始めて、今まで競技を続けてきました。大学で就職を悩んでいた私にコーチが、協力隊を薦めてくれました。派遣国ではナショナルチームの指導になるので、チームと共に成長していきたいです。

青年海外協力隊

青年海外協力隊

行ってきました!
モンゴル! ザンビア!



平成27年度教師海外研修 (JICA東京・駒ヶ根)

今年の教師海外研修では、校種別にザンビアとモンゴルと、研修国が分かれ、長野県からは下記の3名の先生たちが参加しました。

ザンビア:栄村立栄中学校 市川 志野 教諭

松本秀峰中等教育学校 續 美穂 教諭

モンゴル:中野市立倭小学校 松井 真由美 教諭

東京、千葉、埼玉、群馬、新潟の参加者らと派遣前研修を東京で行い、その後ザンビアチームは7月下旬から、モンゴルチームは8月中旬から、約10日間の現地研修へ。現地のJICA事務所、教育機関、青年海外協力隊の活動現場や、JICAが実施している無償資金協力のサイト視察、世界遺産であるザンビアのビクトリアの滝、モンゴルのオルホン渓谷をそれぞれ訪れ、現地の教育環境と社会情勢、国の課題や、日本の

国際協力の現状など、多くのことを学んで帰国しました。

今後は、研修でのインプットを授業でアウトプットしてもらうことが期待されています。先生自身の実体験による生き活きた国際理解の授業が行われることでしょう。3人の先生方の研修と授業実践の報告会は、一般公開の12/20(日)「信州グローバルセミナー2015」内で行います。ご期待ください!



ザンビアの小学校を訪問。

